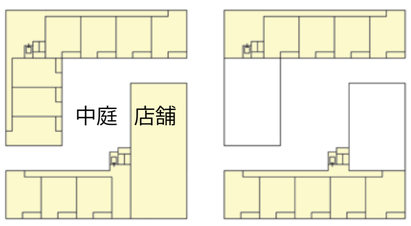
9. 病院通り沿い街区

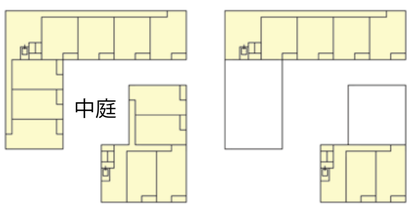
大学病院から岩槻浦和線を渡りスタジアム参道に至る幅員9mの分散道路沿いの街区。スタジアム参道との交差点一帯は居住者も来訪者も集まる街の中心タウンコアであり、比較的大きな敷地が多い。

スタジアム参道沿いと病院通り沿いの1階に店舗を置く。住宅のエントランスは路地から入る。大きい敷地が多いので中庭を取り囲むように建物を配置する。大学病院に向かう道路とスタジアム参道は通りに沿って建物を建て、街路との親密感や一体感を出すとともに街路空間を際立たせる。高さをx軸方向の建物は3階建、y軸方向の建物は1階建と調整することで、メリハリをつけるとともに日当たりの良い住宅をつくる。中庭の環境もよくなる。



Aタイプの画地（左1階・右上階）

Aタイプの画地は2,806㎡と大規模である。中庭を囲むように2棟の住棟を配置する。2棟は同じ形態で巴状に並べる。棟間が通り抜けになって区画道路間をつなげる。中庭の採光と通風にも有効だ。

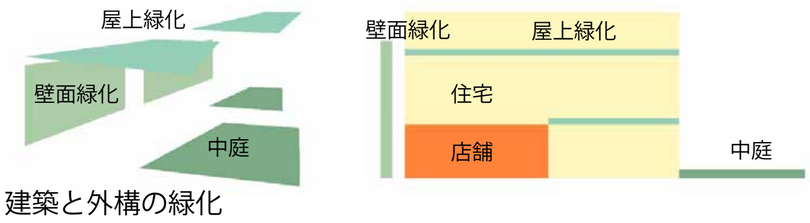


Bタイプの画地（左1階・右上階）

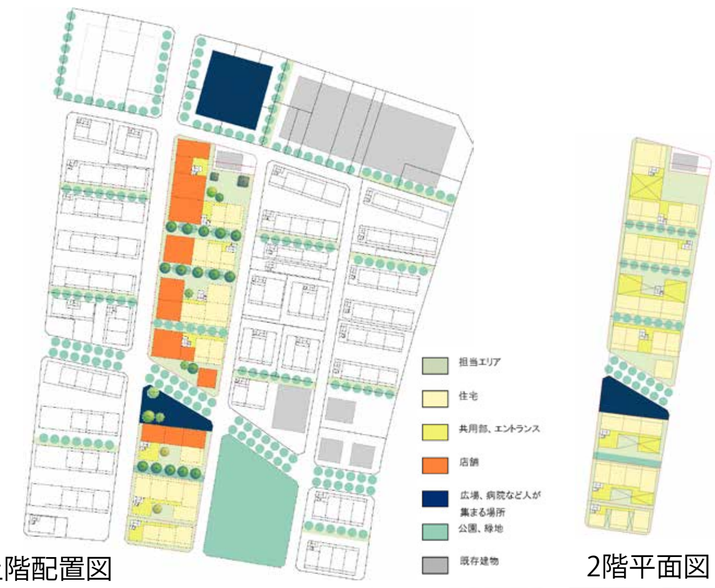
Bタイプの画地は4,207㎡と大規模である。路地を設けて画地を分けてAタイプと同じように巴状に2棟が中庭を囲む住棟配置とする。

10. 広場を含む病院通り沿い街区

大学病院から岩槻浦和線を渡りスタジアム参道に交わる幅員9mの分散道路沿いの街区。この病院通り沿いに店舗を置く。参道と病院の交差点に面する三角形の緑地は街角広場になる。この交差点一帯は居住者も来訪者も集まる街の中心タウンコアである。スタジアム参道、病院通り、三角緑地に面する建物の1階に店舗や公共施設を設置する。その上階と背面は住宅に使う。ある程度大きな画地には中庭を設け、屋上や壁面の建築緑化と合わせて緑があふれるような街区にする。壁面緑化は視線を柔らかく遮ってプライバシーを守る効果もある。

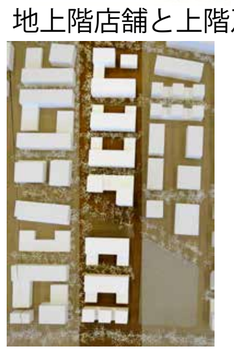


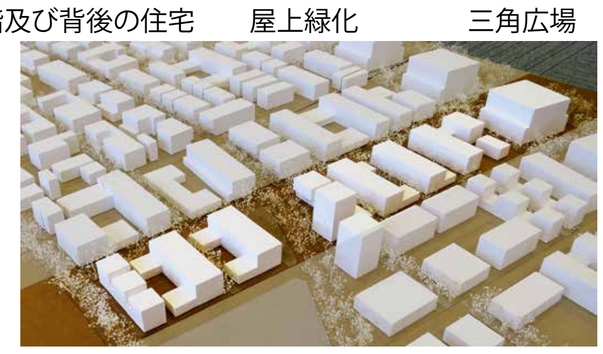
建築と外構の緑化



地上階配置図　　2階平面図

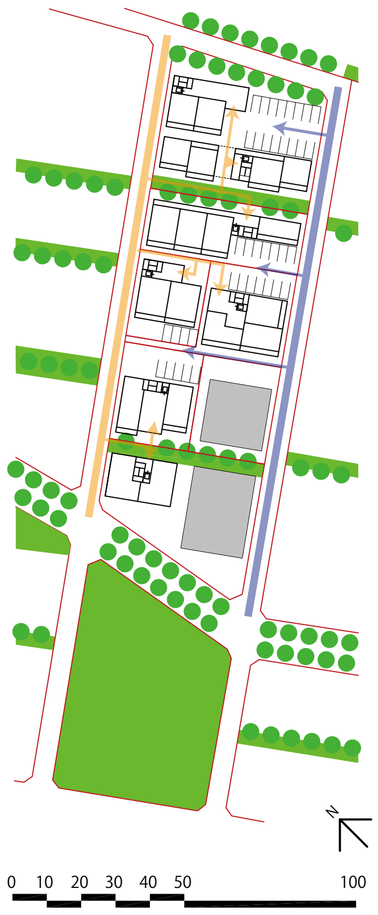
地上階店舗と上階及び背後の住宅　　屋上緑化　　三角広場



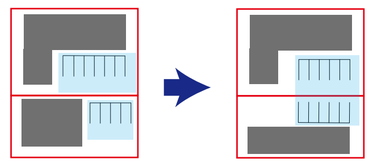


11. 街区公園に面する街区

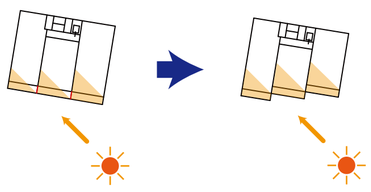
スタジアム参道越しに街区公園に面する街区。スタジアム参道に沿って街区公園の隣地には緑地もある。この街区公園と緑地は住宅地の中心に位置する。日常的に居住者が行き交い、サッカー観戦者も通る。地域のお祭りもここで開催されるだろう。
住宅へのアプローチは南北に平行の区画道路それぞれで自動車と歩行者を分離する。道路境界から壁面後退1.5m。敷地内側の壁面には凹凸をつけてプライバシーを守るともに形態に面白みを加える。南側バルコニー、北側コアを原則とする。



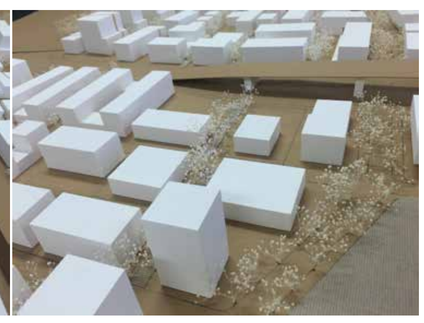
駐車場を隣接画地で整備することで駐車場面積を節約する。



凹凸壁面の効果①
開放的なバルコニーから住戸が十分に採光する



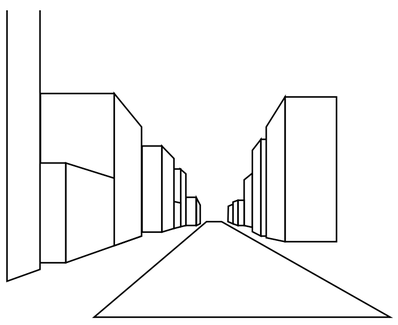
凹凸壁面の効果②
建物の外観に変化をもたらし、外部空間に領域感が生じる



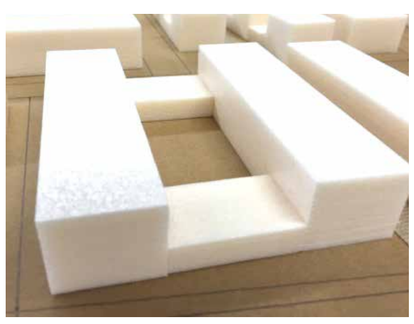
12. 跨線橋に面する街区

跨線橋の北側にある街区。跨線橋が門になって駅前ブロックから一般住宅中心の中央ブロックへ雰囲気が一変する場所である。スタジアム参道は跨線橋の下を通る。歩行者も自動車も跨線橋と反対側の区画道路からアクセスする。中庭と路地を用いて住環境とプライバシーの確保する。跨線橋の交通量とそれに伴う騒音を考慮して道路側の開口を抑えて中庭側に開いて採光通風を確保する。

居住者は跨線橋と反対の区画道路を通って路地から住宅のエントランスにアプローチする。

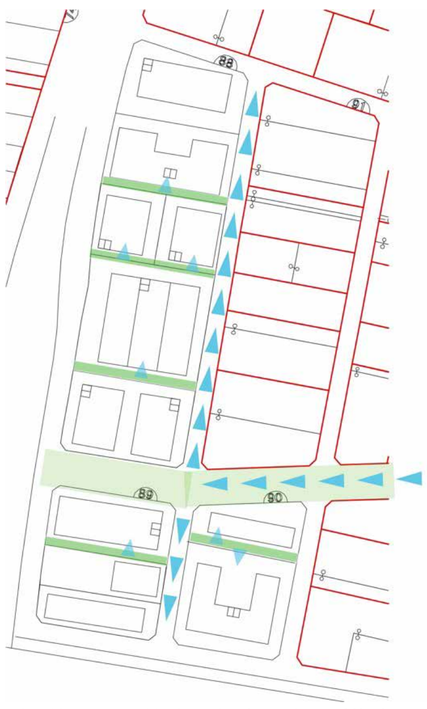


路地沿いのエントランス近傍にカフェや個店を併設して居住者の生活の庭のように設える。中庭に進むと居住者の滞留空間がある。



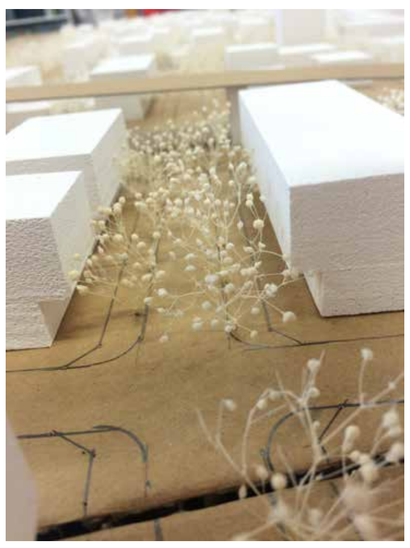
13. 跨線橋の手間街区

跨線橋の南側の街区。ここで駅前ブロックが終わる。スタジアム参道は跨線橋の下を通り抜ける。手前は駅前の賑わいが及び、その先は住宅地の様相が濃い。参道沿いに店舗、背後に住宅を配置する。店舗の1階は壁面後退して歩廊を設ける。跨線橋に面する住宅に配慮したい。エントランスには路地からアプローチしてプライバシーを高める。街区の内側に庭を連続させてスタジアム参道から路地へ動線や視線を開く。



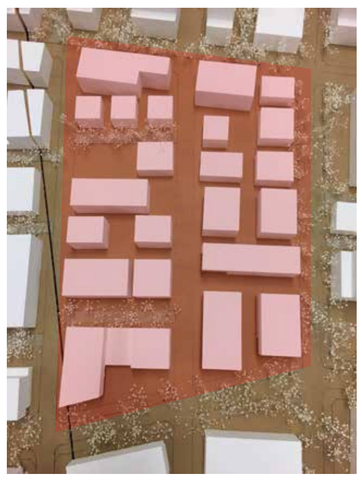
参道・区画道路・路地の段階構成

参道と路地の視線・動線の通り



14. スタジアム参道が始まる街区

浦和美園駅から埼玉スタジアムへ向かうスタジアム参道の出発点である。駅前の賑わいエリアと住宅地の落ち着きを隔てるとともにつなげる狭間に位置する。スタジアム参道の東側は商業地域の複合施設と準住居地域の沿道施設に囲まれて一般住宅に混じって商業業務施設が滲み出るように立地すると期待される。一部には既に住宅や店舗が見られる。居住者と来街者の動線や視線の分離が必要である・



商業業務施設の広がり方はスタジアム参道方向（X軸）とそれに直角方向（Y軸）とで異なる。スタジアム参道沿いの建物は1階を店舗とし、上階を住宅とする。店舗の軒先にはオープンテラスを設えて賑わいをスタジアム参道に表出し通行者に開かれた街の印象を与える。スタジアム参道と直交方向に店舗が立地することで街の活気が面的に展開する。店舗利用者は街角や路地で立ち話をしたり休憩する。人の集まる溜まり場が点在することで駅前商業地区と住宅地区の差異が段階的なものとなる。

スタジアム参道沿いの店舗とオープンテラス

芝浦工業大學 SHIBAURA INSTITUTE OF TECHNOLOGY　文部科学省 地（知）の拠点
みその都市デザインスタジオ2016前期 芝浦工業大学都市デザイン研究室 Misono Studio 2016 Spring Shibaura Institute of Technology Urban Design Laboratory
Hidetoshi Maeda, Namiho Tanaka, Shiori Onodera, Shinya Taguchi, Takuma Anan, Ayumi Ishikawa, Hitomi Ishizuka, Kotaro Inoue, Kiyomasa Endo, Shiyu, Rina Naoe, Sayaka Nose, Ayaka Haga, Masato Yasui and Kakugen Ryu